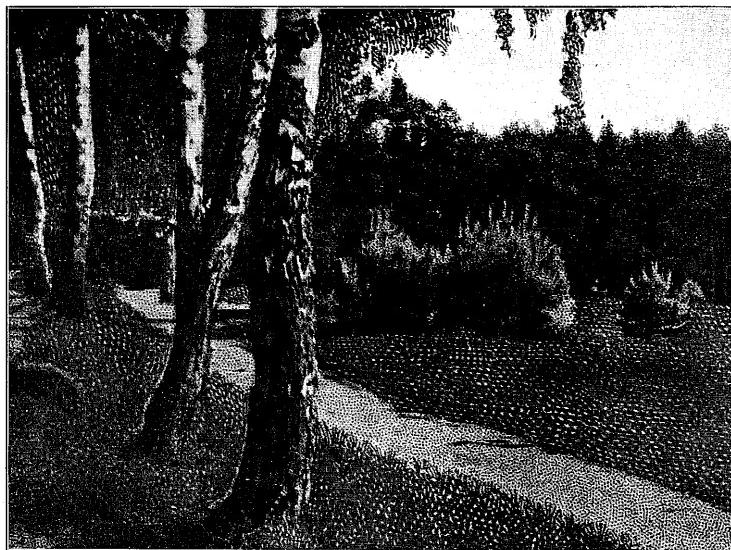


來ルダケ毎月都合ノヨイ時ニ其場所へ採集ニ出懸ケテ一年中ノ變化ヲ知ルト共ニ一年中ノ海藻ノ種類ヲ知リ其幼時カラ結實夫カラ流失迄ノ経過ヲ知ル事ガ一番近道デアル
 最後ニ時々誰ガ言フトナクニ聞ク所デアルガ海藻ナドハモウ手ヲ出ス餘地ガナイノデハナイカト云フ様ナ事ヲ
 聞クガ以テノ外ノ事デアル自分ヤ遠藤君ナドガヤツタニハ違イナイガママア言ハゞ自分ノヤツタニハ遠藤君ガ其中デ
 懇ニ大キナ木ヲ伐リ藪ヲ拓イテ先ヅドチヘ行クニハドノ道ト大通リノ道路ヲ開イタ位ノモノデ遠藤君ガ其中デ
 處々ニ少シヅ、小部落ノ村落ヲ作ツタ様ナモノデマダアチラニモコチラニモ未開ノ邊鄙ガ残ツテ居ルカラ千客
 萬來何十何百何千ノ世帶ガ來テモイクラデモ住ム處ハアルト云フ狀態デアル、事ニヨルト私ニ判ラヌモノナラ
 新種ダラウナドト言フ人ガアルソウダガ夫ハ私ニ判ラナイモノハ即チ從來調査サレテ居ル何種ニ充テ、ヨイカ
 判ラナイト云フ事デアツテ夫ガスグ日本デ初メテ見付ケラレテ未ダ世界ニ知ラレテ居ラナイモノデアルト云フ
 様ナ譯デハナイ誠ニとんでもナイ間違ツタ話デアル
 夫カラ海岸近クニ棲ンデ居ル人デ別ニ採集ナドセズトモ常ニ海ニ親シンド居ラレル人ナラ其海ノ春夏秋冬ニ於
 ケル一海藻ノ胞子カラ發生シ生長シ結實スル迄ノ順序経過ヲ視察スルノモ大ナル斯道ノ貢献デアル、更ニ斯ル
 場所ニ於テイロイロノ海藻ノ發生狀態ヲ弘ク研究シ或ハ發生カラ見タ同一屬ノ各種トカ又ハ關係アル各屬ノ比
 較トカハナル貢献ヲ此學ノ爲ニ齋スノデアル
 其様ナ譯デ海藻ノ範圍ハ誠ニ研究ノ餘地ガ多イノデアルカラ自分ハ此方面ニ向フト云フ人ノ爲ニハ敢テ勞ヲ厭
 ハヌノデアル

○伯林植物採集會ノ記（承前）

理學博士 中野治房

柏林植物採集會ノ記（承前）



(彩色繪ハガキニ據ル)

孔雀島ノ景

此ワンゼーノ河原カラ少シ歩行シテ吾々ハボッダム森林ニ入ッタ此森林ハ廣袤數里ニ亘孔雀島迄モ續イテ居ル前述ノ如ク主ニ森樹ノ林デ之ニベツラ即チしらかんばノ類等モ混ジテ居ルガ少イ割合ニ明イ森デ森下ニハ種々ノ下草ガ發育シテ居ル

此森林中ノ道ハ長イ丈ケニ色々々ノ植物ガ採集サレタガ之ニハ多數ノ採集者ノ事トテ各人ニ分ル様ニハナラヌ、グレーブネル教授ハ特ニ團員ヲ集メ *Saxifraga granulata* ノ鱗莖ヲ掘リ出シテ其レニ就テ話サレ又樹下ニ多數アル蘚類ノ一ナル *Hypnum Schreberi*ヲ取上げ之ハ全ク「スボロゴン」ヲ作ラズ無性的ニ繁殖シ居ル事ヲ全員ニ語ラレタ

吾等ハ十一時半孔雀島ノ前ニ集リ渡ヲ超エタ此處水流ハ急デハナイガ可ナリ強イ、電線ヲ助ケトシ又一人ハ船尾ニテ舵ヲ取り渡ルノデアル

孔雀島ハ植物保護地デアルカラ一寸警察派出所ニ御断リシ島内ヲ巡見シタ島内芝生ガ毛氈ノ如ク布キツメ櫻ヤ梨ハ花既ニ散リ失セテ葉ノミヲ宿シテ居タガ石南花、りんご、はしごい及ラバルヌムノ類今ヤ花盛リデ紅紫黃白ト

リドリニ色ヲ競ヒ妍ヲ鬪ハシテマルデ仙境ノ様デアツタ、オマケニ放シ飼ニシテアル孔雀ガ寂寞ヲ破ツテ異様ノ鳴聲ヲ放チ科學ノ境カラ詩境ニ心ガ飛ビ離レル様ナ氣持ニナツタ爰ニ少シク以上ノ植物ニ就テ御話シタイ、獨逸ニ在ル櫻ハ *Prunus avium* 及 *P. cerasus* ノ二種デ此各ノ園藝品種及雜種ナドガ各所ニ植エテアル何レモ花ハ白色デアル前者ハニ甘櫻トモ云ハレ甘味ハ後者ニニ酸櫻ト呼バレルモノヨリ多イガ色々ノ變種ガアルカラ一概ニハ言ヘヌ、甘櫻ハ甘イカラ食用ニハ宜イガ櫻酒ヲ造ル目的ニハ酸櫻ノ方ガガ反テ宜イトモ言ハレテ居ル其レハ甘櫻ハ糖分ハ多イガ酸味ガ少ク釀造ノ際不結果ヲ來スニヨルト云フコトデアル此外灌木實櫻 *P. acida* モ亦果樹トシテ栽培サレテ居ル獨逸ノ櫻花ハ赤味ガナイカラ樹一本ヲ日本ノ櫻ニ比ベルト見劣リハスルガ其デモ澤山植エテアル所ハ矢張美觀デ白雲ノ鑿鑿スルトデモ



(園圃館ハガキニ據ル)

Werder ノ實ざくら其花滿開ノ狀

云フ様ナ高雅ナ氣分ガアル、ソシテ其樹數ノ如キ或處デハ日本ノ櫻ノ比ナドデハナイ矢張ハーフェル(Havel)ノ岸ウエルデル(Werder)附近ノ丘陵ニハ數里ニ亘リ此等ノ櫻ガ他ノ果樹ト混ジテ植エラレテアリ花時ハ實ニ美シイ日本ノ花見ト同ジク矢張櫻見物ガ都人士ニヨリ此地ニ行ハレ果酒ニ醉フテタハケル所ナドハ日本ト違ヒハナイ、餘談ハ兎ニ角公平ノ眼カラ見テ外國ノ櫻ニモ或美サガアルト云フ事ハ間違ナイ

其カラ石南花ハ何レモ外來植物デ主ニ印度及アメリカアタリノ種ノ改良及雜種デアルトノ事デアルガ日本ナドデハ見ラレヌ美シイ花樹デアル

其レカラはしどい獨逸語デ Echter Flieder ナドト呼ンデにはとん Flieder ト區別スルガ赤、紫、白等ノ花ガ歐洲ノ春ヲ飾ル大切ナ樹デアル此レハ植物學上二三種アルガ主ニ Syringa vulgaris デアル又孔雀島ノミナズ到ル處春ノ獨逸ヲ飾ル Goldregen ハ其名ニ背カズ黃金色ノ枝モタワ、ニ咲キ亂レ又トナク誠ニ美シイモノデアル學名ハ *Laburnum vulgaris* テ元來高山植物デアルガ今ヤ到ル處ニ栽培セラレル此小灌木ハ疾ク我邦ノ植物園ニモ來テ和名ヲ金鐘花ト呼バレテ居ル

孔雀島上ニハ又リンデヤウルムス(主ニカンペストリス)クエルクスヤとちのきノ類ガ多イ、リンデニハ夏リンデ(Tilia platyphyllea)冬リンデ(T. cordata)ノ二種ガ植エラレテ居ルガ夏リンデノ方ガ多イト云フ事デアル面白イ事ハ獨人ハ大變此樹ヲ好ミ料理店ノ庭ナドニハ一面ニ植エテアルノガ稀デナイ、ソシテ此樹下デ「ビール」ヲ飲ミ料理ヲタベルノハ獨逸人ノ甚シク好ム所デアル、とちのきハ獨逸語デ Rosskastanien(直譯馬栗)ト云フガ斯ク言フト普通 *Aesculus Hippocastanum* 即チ花ガ白デ赤及黃斑ガアル種ヲ云フ事モアレバ又獨逸ナドニアル之ト米國種トノ雜種 *A. carnea* 即チ桃色ノ花ヲ開クとちヲモ呼稱スル事モアル、因ニ後者ハ雜種デアルカラ接木トシテ保存サレル伯林ダーレム植物教室ノとちハ何レモ此赤花ノモノデ樹ノ基部ニ接木ノ痕ガ見ラレル、次ニクエルクスハ *Quercus pedunculata* 及 *Q. sessiliflora* ノ二種デ獨逸内ニハ大木ガ少クナイ所謂「アイ

く」トハル、モノデ孔雀島上ニヨグレーブネル教授ニヨンバ八百年以上ノ樹齡ヲ持ツテ居ルモノガアルトノ事デアル

予等ハ島内ヲ巡見シナガラグレーブネル教授ノ「アイヘ」ノ話ヤ又芝生ノ上ニ可ナリ多數ニ見出サレタ胎芽ヲ生ズル禾本科ノ一種 Poa bulbosa ナドノ話ヲ聽キ其レカラ又島内ノ一小部ニアル「ハイヂ」状ノ處ニ至リ己ニ花ノ咲イタ Genista pilosa 等ヲ採ツタ此處カルナモ澤山アツタガ時期尙早ク乾枯シテ居ツタ、因ニ此カルナト稱スル植物ハ真夏頭花盛リテ獨逸人ナドハ其ノ花見ニ遠足ニ出掛ケルガ日本ナドニハ見ラヌ花見デアル

(未完)

○おたかせ Otaksa トベ果シテシーボルド來朝時代ニ於テ おもかせ II 調べル和名ナリシカ

澤田武太郎

P. F. SIEBOLD ト J. G. ZUCCARINI ュノ共著 Flora Japonica 第1卷 (1835 我天保六年出版) 古〇五貞ヲ繙イテ見ルヘ Hydrangea Otaksa ノ新學名ニシテノリ舊ベル原記載ガアリ又其古〇六頁ニ列ハ Nomen Japon. Otaksa トアル、尙其五十十一圖版ニ就テ見ルニ此學名ニ對スル植物ガあぢたるデアルコト疑ノ餘地ガナイ (次頁ノ寫眞參照) ヘロガ Otaksa ハあぢたるノ方言デアツタロウトノ想像ガ起ツテ來ル此點リ謬シテ E. H. WILSON ハ疑フ以テ Siebold's name "Otaksa" is not used in Japan today and Japanese scholars fail to understand its derivation (Journal of Arnold Arboretum, Vol. IV. No. 1, p. 237 [1923].) ト放詫シテ居ルガ、大正十五年再版ノ吳秀三著「ハーバード先生」ハ書リハ次ノヤウリヤハ簡単リ片付ケテアル